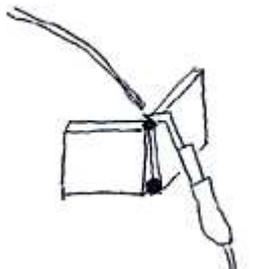
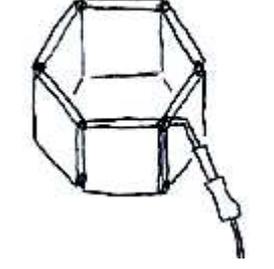
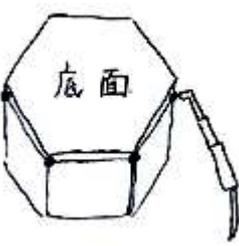
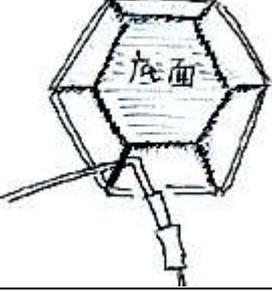
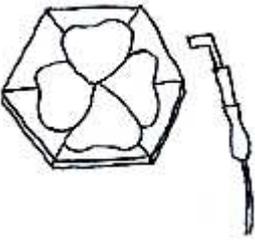
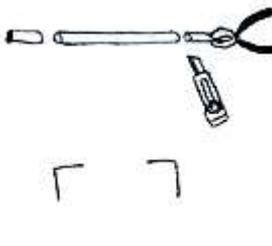
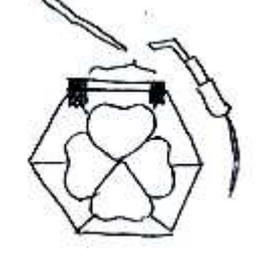
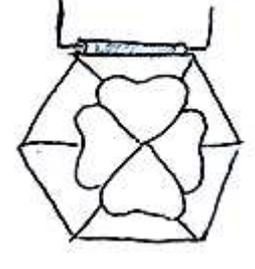
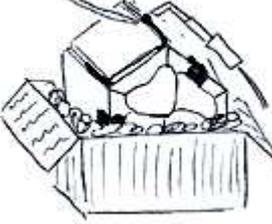


## No.4キット クローバーのジュエリーボックス

説明ビデオと型紙はキット詳細ページよりご覧ください。

<https://sg-mille.shop-pro.jp/>

<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ガラス5種</li> <li>(緑・薄黄・薄緑・クリア柄・クリア)</li> <li>* 金クサリ 1本</li> <li>* ヒンジセット 1本</li> <li>* 型紙</li> <li>* 説明書</li> </ul>	<p>※蓋の大きさをご自分で修正していただく様、作業手順を変更いたしました。説明ビデオとは方法が違いますので、説明書に沿って作業なさってください。ご面倒おかけしますが、よろしくお願いいたします。</p>		
<p>①蓋はデザインA、Bから一つ選んでください。 ※Aは初心者の方向け、Bは細かく難しいカットを含むので中級以上の方向けです。Bは狭いカーブがありますので、ルーターは直径1/4"以下のビットのご使用をお勧めいたします。</p>	<p>②蓋は外側ピースの大きさを変更になる可能性がありますので、側・底面から作り始めます。 側面は薄黄と薄緑を3枚ずつ、底面はクリアガラスをカット・ルーターがけし、ブラックテープを巻いてください。</p>	<p>③まずは側面のガラスを120度の角度で上下2箇所ずつ点付けします。</p>	<p>④黄と緑を交互に点付けして6角形にします。</p>
			
<p>⑤底面のガラスを乗せ、形を整えて角に点付けします。</p>	<p>⑥内側のラインから本ハンダしていきます。</p>	<p>⑦ダンボール等を利用して側面・底面のラインを水平にし、本ハンダします。側面ライン6ラインのうち2ラインはワイヤーを埋め込むので本ハンダせずにおきます。 開口部の縁にもきれいにハンダをします。</p>	<p>⑧蓋を作ります。箱部分に合わせて蓋が落ちないように外側ラインを決定、ガラスカット・ルーターがけ・テープ巻きをします。</p>
			
<p>⑨蓋の点付けをします。型紙からはみ出さないよう、周りを割り箸などで固定してしまうといいでしょう。本ハンダをします。縁もきれいにハンダをします。</p>	<p>⑩パイプ管は約6cmにカットされています。真鍮ワイヤーは3cm2本にカットし直角に曲げておきます。パイプの穴がつぶれていたりワイヤーの切り口がひしゃげていたりすると、中に通せません。ワイヤーが通せるか事前に確認してください。</p>	<p>⑪型紙を参考に蓋にパイプをハンダ付けします。パイプの穴をハンダで塞がないよう、両端3mmくらいをガムテープで蓋と固定し、ハンダ付けをします。</p>	<p>⑫パイプの穴にワイヤーを入れます。</p>

			<p>蓋が取れやすいので洗剤で洗うときは注意してください。</p> <p>仕上げはお好みですが、何もつけない銀色のままもお勧めです。</p>
<p>⑬ワイヤーを側面の本ハンダしていないラインに合わせ、ガムテープで固定しておきます。</p>	<p>⑭ダンボール等を利用して側面ラインにワイヤーをハンダで埋め込みます。きれいに本ハンダします。蓋にハンダが付くと蓋が開かなくなってしまうので注意して下さい。</p>	<p>⑮蓋が垂直よりやや広く開くように長さを調整した金クサリを、●の位置で点付けし完成です。</p>	

(※1)点付け： 仮留めとも言います。ガラスピース同士の接点にフラックスを塗りハンダを点状に付けてピースを固定する作業。

(※2)本ハンダ： コパテープの表面全体にハンダを盛り付ける作業。フラックスをたっぷり塗るかまぼこ状にきれいに盛り付けましょう。